

ぼらっと



発行元 雫石町ボランティア活動センター
〒020-0541 雫石町千刈田82-2
雫石町総合福祉センター内
☎:692-2230 FAX:691-1140



ホームページ



Twitter

ふれあいサロンの 活動レポート



↑アイスブレイク(じゃんけん列車)のようす
親睦を深めるため、ミニゲームもしました。参加者
全員が1本ずつ新聞紙の“たすき”をかけて、出
会った人と『初めまして～！』等とあいさつをし
ながら、じゃんけん！負けたら、列のうしろに。
約50人の参加者が、最後には1本のなが～い
列車になりました♪♪

サロンスタッフ研修会 開催しました(^^♪

令和5年6月9日(金)、令和5年度第1回雫石町ふれあいサロンスタッフ研修会を開催し、矢巾町のふれあいサロンスタッフの方々と情報交換を行いました。町外での研修会は、実に4年ぶりです。サロンスタッフの方々からは、「ほかの町の話聞くのは新鮮だった」「自分たちの活動にも活かせると思う話が聞けた」「自分たちのサロンの良さにも気がつくことができた」などの声がありました。

当町と矢巾町は地理的には近いものの、それぞれ独自の地域的特性を持っているため、参加者たちにとっては刺激的で収穫の多い時間となったようでした。

「うたと音楽のチカラ」で 幸せな毎日を。

現在、カラオケ機器を使った“心と体の健康づくり教室”が、事前のお申込みがあったふれあいサロンにて、順次開催されています。これは、雫石町が今年から推進しているプログラムで、講師として第一興商さん(全国シェアNo.1カラオケ機器「DAM」を手がける)が訪問し、カラオケ機器を使って、音楽に合わせた体操や、脳トレをご指導してくださっています。このプログラムは、認知症予防や口腔(こうくう)機能の向上が期待できるそうです。詳しくは、『DKエルダーシステム』で検索してください！



↑ 駅前サロンへ出張中！

カラオケ機器から出力される映像や、リズムにのって、ペアの人と手を合わせる参加者。脳トレクイズなど、メニューも豊富にあるそうです。

DKエルダーシステム



福祉避難所ってなんだろう？

～「うぐいすの郷」で職員向け出前講座～



↑ 発災後、自分たちにできること、想定される状況はどんなものか、意見を出し合う参加者たち。

令和5年6月21日(水)に「うぐいすの郷」にて、防災に関する職員の方々むけの出前講座として、『クロスロードゲーム』を行いました。

クロスロードゲームの“クロスロード”とは、「分かれ道」のことで、災害時のジレンマを想定した設問に、プレイヤーが「YES」か「NO」の2者択一の選択をすることで、発災時の現場対応を疑似体験するゲームです。

参加者それぞれの異なる立場や背景、価値観(管理職と一般職、独身と既婚など)の意見が共有され、『対応に絶対的な正解はなく、状況によって判断も異なると分かった。もっとシミュレーションをして、実際に避難者が来た時の対応を学びたい』などの感想が寄せられました。

福祉避難所とは？

一般の避難所で過ごすことがむずかしい重度の障がい者など、特別な配慮が必要な人向けの避難所のことです。町内では、計4施設が町と協定を結んでいます。

ポイントとなるのは、(雫石町では)いったん一般の避難所へ避難してから、必要な方が福祉避難所へ移送される仕組みになっていることです。

これは、過去に一般の避難者が福祉避難所に殺到し、混乱を招いた事例があるためです。



ボランティア保険 コロナが対象外に

今般、政府が2023年5月8日より新型コロナウイルス感染症の法律上の分類を季節性インフルエンザと同じ「5類感染症」に位置付ける決定をしたことに伴い、ボランティア活動保険における取扱も変更となり、保険金支払いの対象外となりました。何卒、ご理解くださいますようお願い申し上げます。

ふくしの保険 コロナ



くわしくは、
コチラをスキャンして
ご確認ください!!



「令和5年奥能登地震」 石川県珠洲市へ義援金

町内の災害ボランティア団体「チームH.330」が、軽トラ市にて街頭募金を実施。集まった下記金額を珠洲市へお送りしました。ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。 一金 39,136 円



写真：地震で倒壊した家屋(珠洲市正院町正院)
北國新聞 2023年5月6日号より引用

